

59.5  
146

実業教育  
資料第一

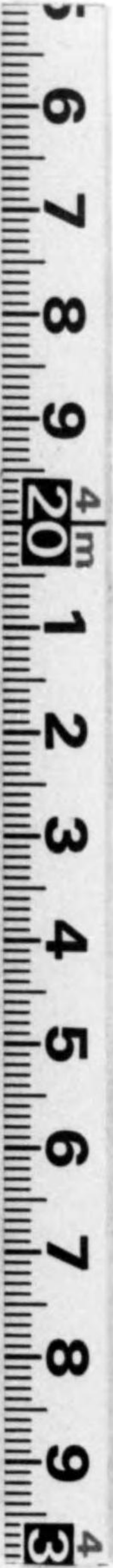
事變と支那の法幣

木村増太郎

259.5-146



1200501349901



始



2595  
146

# 幣法の那支と變事

郎太増村木

料資育教業實

1

内省部文

行發會央中興振育教業實 法人財團

### 實業教育資料刊行の趣旨

實業教育資料は、一は實業に關する重要問題に付、斯界の權威に執筆を乞ひ、以て教育關係者をして國家的に又實業的に最緊急重要なる事項に付、正確なる知識を把握せしめ、學生々徒の教育指導に遺憾なからしむると共に、一は實業教育に關する斬新なる學說意見、顯著なる施設業績、外國事情等を紹介して、實業教育の改善進歩に資せんとするものである。

即ち實業教育の改善と新教材の供給との二を主たる目的として、編纂するものである。

### 事變と支那の法幣要旨

その經濟が特異な形態の下に發達し來つた支那に於ては、幣制も頗る亂脈を極め、これ迄幾多の改革案が提唱せられたにも拘らず、容易に實現を見なかつた。それが一九三五年晩秋、突如一躍本來の銀本位制と離脱して、管理通貨國となつた。これは米國の銀政策と世界經濟恐慌とが支那經濟を全面的恐慌に陥れたことが動機となつたものである。

かくて現はれた法幣は、英米兩國の支援と國民政府の國內統一工作の進捗とによつて、着々成功して國內に普及流通し、同時に政府の手に集積せられた現銀は、續々英米に送り出されて巨額の在外爲替資金を形成した。

この劃期的な幣制改革の成功こそ、實に蔣をして今次事變を勃發せしめた根因と看做して差支ない。即ち法幣を通じて蔣政權と民衆との紐帶が成立し、英國と國民政府との結合



259.5  
146

目次

一、はしがき……………一頁

二、支那經濟の特性と幣制改革前の支那幣制……………四頁

三、幣制改革の經濟的背景……………九頁

四、法幣の出現とその成功……………一五頁

五、事變と國民政府の抗戰財經力……………二一頁

六、法幣と國民政府の戰時金融統制……………二六頁

七、在外資金の集積と法幣……………三一頁

八、第一次法幣崩壞過程……………三八頁

が鞏化せられたのである。而も開戦となるや、公債増發並に増税による戦費調達が必要ならずしも容易でない支那に於ては、法幣操作と在外資金動員とによる内外物資調達の繼續は、絶對的に有力な對日抗戰の基礎を形成するに至つたのである。

そこで、法幣對策が事變對策、東亞新秩序建設工作の基礎的緊要事となつたのであるが、法幣は開戦後一ケ年の永きにわたつてよくその基本的爲替水準を維持し得たにも拘らず、その後法幣の基礎をなす在外資金が激減し來つたに加へ、北支に於ては聯銀券、中支に於ては華興券が出現して、新幣制工作が着々奏功し來つたため、徐々に崩壞への過程を辿らざるを得なくなつた。

長期經濟戦に入つた事變對策として、かくて今や新幣制の成功が絶對的緊要事たるに至つたのである。

九、第二次法幣相場の崩落……………四二

一〇、北中支新幣制工作の進展……………四六

一一、圓ブロック輸出制限問題と東亞新秩序の建設……………五三

一二、むすび……………五七

一、はしがき

支那事變を契機として、事變の成果に對する世界各國環視のうちに、支那の法幣は華々しく脚光を浴びて登場、活躍をつづけつつある。戦闘工作の燦たる偉績は、すでに蔣が開戦須臾にして北京・天津・青島を放棄し、半歳にして上海・南京を喪ひ、その後徐州大殲滅戰を経て、武漢三鎮の要衝を奪取せられ、廣東・海南島・汕頭と續々占領せられた今日となつては、いかに蔣介石とその率ゆる黨軍が重慶の奥地に空疎な抗戰持久・抗戰救國を呼號しても、何人も事實を歪曲することなくしては、これを信じて得ないであらう。

しかし、これに反して、戦闘工作と併進すべき經濟工作、なかんづく經濟産業の中心的要因をなす通貨工作の展開に至つては、未だ必らずしも戦闘工作の華々しき成功と歩調を一にしてゐるとは斷じて得ない。法幣の有つところの、われにとつては新秩序

建設の阻碍者、かれ等にとつては長期戦遂行の支持者としての相當大きな力が、事變満二年に於てなほ強く働らいてゐることを、決して見逃し得ないのである。もとよりわが國としても、この、裏面にあつて蒋介石の暴虐を支持する法幣に對しての施策を、忽緒に附してゐるわけでは斷じてない。法幣があればこそ、蒋介石は安んじて傾國亡民の非道戦を戦ひ得るのであり、法幣を通じてこそ、英國の殊さらに東亞新秩序形成に反抗する援蔣があらはれるのであるから、當初よりその對策は些かも等閑に委せられはしなかつたのである。

ただ、わが國一部に於ては、法幣に對する認識が肯綮を外れ、事變勃發當初に在つては、法幣は間もなく崩壊して蔣の抗戰意圖を挫折せしむることとなると考へ、逆に蔣の意圖を達成せしむる最強の財政經濟的武器としての法幣であることを見忘れてゐた憾みはある。また天津英租界の隔絶の如き強硬手段をさへ敢て採らねばならなかつたほどに頑迷な英國の反日意識が、法幣の強化策に於て最も熾烈に具體化されるであ

らうといふ必然の見透しを誤つた點もなしとはしない。

それにしても、北支に於ては昨昭和十三年三月十日、中支に於ては十四年五月一日、それ／＼中國聯合準備銀行の發兌する聯銀券および華興商業銀行の發行する華興券が、新たに登場して、前者は政治的・強權的に法幣と正面抗爭を試み、後者は經濟的・自然的に法幣に追躡し、また當初前者は國內通貨として、後者は貿易通貨として、それ／＼大體の行き方こそ異なれ、終局的には右の如く、内外の財經的援蔣の有力な要因である法幣に對して、新幣制確立の第一歩を歩みはじめたことは、わが占據地經濟對策の進展を物語るものといはねばならない。

今や事變は單なる武力戰段階を去り、新に經濟戰の段階に進み來つた。而していふところの經濟戰は一つには蒋介石政權の武力的打倒の裏付けであり、二つには今次事變の眞目的たる東亞新秩序建設の基礎的な要因をなす東亞經濟ブロック結成の地均しである。したがつてそれは、戰闘工作と歩調を一にして展開すべき性質のものである。

り、また武力戦と双輪をなさなくては眞の効果を挙げ難いものである。破壊と建設——この二者の共同動作が何よりも緊要な連環となつて、事變以來不斷に論議せられたつたあつた法幣問題が、一入の緊迫さを加へ來つたことは、かくして洵に當然であらう。何となれば、打倒蔣政權・建設新秩序の經濟的中心問題が、極端にいへば、一に全く法幣攻防戦に於て、集中的に表現せられざるを得ないからである。

しからは、かくほどまでに重大視せられる法幣とは、一體いかなるものであり、いかなる作用を事變におよぼし、いかにわが對策が進み、將來いかになり行くべき運命にあるものであらうか。以下これ等を解明するに先立ち、先づ一應簡單に法幣出現までの歴史をふりかへつてをくことは、たしかに徒爾ではないとおもふ。

## 二、支那經濟の特性と改革前の支那幣制

支那は古來より極端な地方分權制の國であつた。而してその本來の政治は萬機親裁

による君主獨裁でありながら、他面民は天子に備はつた徳の力で治まるといふ徳治主義を傳統的理想としたから、勢ひ甚だしく消極的となり、政治は國內に普及せず、したがつて政治的領域は頗る不明確であり、全く帝王のための政治、一部特權階級のための政治となるに至つたのである。

かくの如き特異な政治であつたから、支那の國民經濟は初めから政治上の拘束を受くることなく、恰も水の低きに流るる如く、純經濟的に、而も自然的に早くから全國にわたつてその體系を形成することとなり、一般人民の實生活と政治とは全然没交渉のものとならざるを得なかつた。その結果は國民生活に何等政治上の保護を必要とせざるに至つたのみならず、なほ漸次政治が少數野心家の權勢爭奪の具となるにおよび、遂には國民は政治を害惡視してこれを忌避せんとするに至り、かくて國民生活を政治より防守せんとする強固な社會組織を建設することとなつたのである。

支那經濟は即ち、地方のかかる自治的な團體を主體として作り上げられた經濟單位

の集合である。ゆゑに諸國に見る如く、國家といふ政治團體の統制の下に一の有機的組織を有する國民經濟とは、根本からその意義なり本質なりを異にするのであつて、いはばわが國その他の經濟が立體的な組織を有するに對して、支那のそれは平面的な、而も分散的な經濟であるともみて差支えない。

平面的・分散的である限り、一部分はあろか、その半ばが他との關聯を切斷せられたとしても、残り半分は依然としてその生存を維持し得る經濟である。一九三一年長江未曾有の大洪水に際し、淹沒耕地二億五千万畝、農産の被害四億五千七百万元、災禍地帯は北中南支にわたつて二十數縣と稱せられ、上流地域に於ける死者・難民無數といはれながら、河口の上海は弦歌街上に溢れる好景氣を示顯してゐたことによつても、その特異性の一斑はこれを知り得よう。

支那の通貨が、右の如き特異な經濟に照應して、頗る亂脈を極め、雜多の硬貨とそ  
の表象としての信用證券が、何等相互關聯なく通用してゐたことも、かくして洵に當  
然といはねばならない。本來、幣制改革前の支那の幣制は、法制上から見れば銀元が  
本位貨と解されるのであるが、大衆の日常使用せる貨幣は銅貨であり、その間日々比  
價の變動があるのみならず、銀貨・銅貨を問はず、それがまた多數錯雜を極めたので  
ある。

一九三三年四月、當時北伐に成功せる國民政府は、新首都南京にあつて廢兩改元を  
斷行し、全國の流通貨幣の單位を「元」に統一したが、それまで全國に流通せる「兩」  
の種類は七十有四と報告せられてゐる有様だつたのである。しかもこの廢兩改元の後  
に於ても、通貨の種類は依然極めて多く、紊亂状態も亦た殆んど改善せられず、同じ  
く銀元にしても中央銀行發行および北京政府時代發行の大銀貨、地方政府發行の小銀  
貨、中央銀行の廠條、外國銀行の各國銀貨があり、紙幣に至つては新式・舊式、中央・  
地方の各銀行個人商店等の發行する各種各様の形式・種類が、何等の疑問もなく通用  
してゐたのである。凡そいづれの近代國家に於て、かくの如き通貨の紛亂錯雜が見ら



れ得るであらうか。

しからは、支那に於ては幣制統一運動は全く存在しなかつたかといふに、事實は屢屢大がかりな調査が行はれ、例へば著名なもののみを挙げてみても、光緒二十九年（一九〇三年）に於ける張之洞の銀兩本位制案、ゼンクス博士の金爲替本位制案、ロバート・ハートの改革案、民國三年（一九一四年）のグイッセリング博士の金爲替本位制案、翌年のワトゲルの銀兩本位制案、民國七年（一九一八年）の曹汝霖案、同十八年（一九二九年）のケメラ一金爲替本位制案等々、數多くの調査が發表せられ或は獻策せられてゐるのである。しかるに、それ等のいづれの一つとして實現の緒につき得なかつたのは、要するに、一つには政府に實行の熱意なく、二つには政治の基礎確立せざる支那に於て、貨幣制度にのみ改革統一を行はんとしても不可能である、との反對が強かつたからである。

それにも拘らず、一九三五年に於て劃期的な幣制改革が斷行され、且つ成功したの

である。されば、そこには何等かしかせざるを得なかつた緊迫せる事情がなければならぬことは敢て絮説を要しないところである。次節に於てその事情を簡述せんとするゆゑんである。

### 三、幣制改革の經濟的背景

一九二九年初冬、紐育株式取引所に於ける證券市價の大瓦落を契機として、當時すでに進行しつつあつた農業恐慌は遂に金融恐慌にまで發展して世界各國を襲ひ、かくして發生した世界恐慌は、その範圍と深度と持続性に於て眞に振古未曾有の程度におよび、足かけ四年間、一九三二年頃までその激化は底止するところを知らなかつた。しかるに、當時支那だけはこの滔々たる世界不況の埒外にあり、その都市經濟の如きはむしろ好況ともいふべき情勢を呈し、ソールターをして「繁榮の孤島」の讚嘆を擧げしめたのであつた。がしかし、二年後にはそれもやがて儚なく破れ去らねばなら

なかつた。一九三一年、歐米各國が徐々に恐慌の影響より脱しはじむるに至つて、支那は漸く深刻極まりなき恐慌状態に顛落したのである。

支那の經濟恐慌も等しくその因を農業に發したが、しかし世界のそれが農産物の過剰であつたに對し、支那のそれはその不足であり、しかもそれまで過去二十數年にわたつて暗々のうちに醸成せられ來つたものである。

凡そ國民革命後の如き群雄割據の政治は、興廢常なき支那に於ても稀な状態であり、地方に割據せる軍閥は相互に政權の爭奪に没頭して常に租税の苛斂誅求を恣のままにせるのみならず、或は不換紙幣の濫發、銅貨の濫鑄、官權濫用の營利事業獨占等、算へ來ればあらゆる搾取政治を行つたに加へ、年々の旱・水・霜・風・蟲害等天災による農産物の減收は、さらでだに人禍にもとづく農業被弊に拍車を加へたのである。

支出の増大と収入の減少、それだけでも神農氏（炎帝）以來殆んど何等農法の改善なしといはれ、禽獸にも劣る生活に喘ぎ來つた農民は、再起の望みを失はんとしてゐたが、農産物の過剰に悩む列強は支那を絶好のダンピング市場として、熾んに過剰農産物を賣叩き、また歐米の資本主義の侵入をみて以來は、農村經濟の相當重要な支柱であつた農村工業がまた殆んど根本から崩壊するに至つた。

かくして農民は或は出でては無籍の流民となり、或は去つては無職の遊民・軍閥の手兵となり、さらに社會の秩序を紊す因子とならざるを得なかつたのである。

周知の如く、支那は人口四億の八割以上が農民であり、その約六割、即ち全人口の半ばが零細農民であるといはれ、國民經濟の基本は一にかかつて農村經濟にある。しかるに、この農村經濟が根底から破壊したのであるから、これに寄食して生存をつづけ來つた都市經濟も亦た、いかに支那の國民經濟形態が地域的に別個の組織を有する統制なき集合體であり、經濟圏を異にしたがつて別個の經濟狀況を現出するところが可能であるといつても、遂には至大の影響を蒙らずにすむわけではない。もとより、一時的には都市經濟より獨立した状態を呈し得る。それはしかしあくま

でも一時的のものであり、別個の原因にもとづくものである。さきに述べた揚子江の大洪水に際し、上海が好景氣を呈してゐた原因も、實は當時上海が銀の氾濫の唯中にあり、インフレーション・物價騰貴を伴つたがためであり、銀の氾濫こそ上海の景氣の支持者だつたのである。

歐州大戰以來、世界の銀生産は漸増したに加へ、各國は銀價騰貴に際して補助銀貨の純分率を引下げて供給の増大を圖つた。しかも世界に於ける銀の二大需要國の一として重きをなしてゐた印度が、一九二八年に本位制の改革を行ひ、政府自らその保有せる準備銀を續々賣り出し、唯一の残された銀市場たる支那、殊に從來國內銀輸入の九割五分までを收容し來つた上海へ殺到するに至つたに加へ、支那農村の疲弊と共匪土匪の跋扈にもとづく不安とから、奥地の退藏銀亦た續々上海に集中するに至つた。かくて上海は内外より莫大なる銀の流入に見舞はれ、その結果、インフレーションによる物價騰貴を招來し、かくして農村經濟の情勢と、遊離せる好況を出現したのであ

る。

しかしかゝる不自然な景氣現象は、その後續落する銀價に對し、世界市場への供給に於て約八割近くまでの實權を握る米國の大懸りな人爲的銀價吊上げ政策により、米銀價格が上昇し、支那のそれと多大の開きを生じたため、一九三二年以後、急激に支那保有銀の海外殊に對米流出があらはれたことによつて、敢なくも解消されたのである。即ち、一九三二年の銀の入超額三千九百萬元に對し、統計上にはあらはれた數字にのみついてみても、爾後三五年末までに純流出額四億三千二百萬元、出超額三億四千百萬餘元を示したのである。

加ふるに、貿易は元來支那に於ては殆ど萬年入超の状態にあつたのであるが、支那自體の農業恐慌、世界經濟恐慌の影響のほか、一九三一年の滿洲國の獨立のために、當時人超額は急増し、その結果ますます銀流出をひき起さずにはおかなかつた。元來支那人は印度人と並んで世界に於ける有數の銀愛好國民である。しかも面積の廣大な

るにも拘らず、國內に於ては殆んどその産出を見ず、全國に分布退藏せらるる二十億オンズにも達する銀は、殆ど海外より流入せられたものであつた。したがつて、支那は古來より常に銀入超國の地位にあつたのであるが、それが一變して銀流出國に轉じたのである。

かくて、上海在銀高は日を逐ふて激減し、ひいてあらはれたものは通貨の縮少であり、物價の下落であり、金利の昂騰であり、金融機關の崩壊であつた。その結果、この金融機關と特殊なタイ・アップによつてのみ赤字公債による存續を維持し得た國民政府財政は、多大の危機に直面せざるを得ざるに立至つたのである。

本來、國民政府が革命後の封建的な群雄割據にも拘らず、對外的にも對内的にも、とに角、中央政府としての一應の體面を保持し得た原因は、彼等が浙江財閥と言はれる金融資本家と不可離の關係に於て、手取額が發行額面の六七割程度に過ぎざる公債を續發し得たからにほかならない。即ち、財閥銀行はこの有利なる公債投資を以て本

來の業務とするかの如き變態的經營を行ひ、政府亦たこれを許容してもなほ財政の赤字補填をのみ顧慮せざるを得ぬ狀況に於て、兩者相互依存の關聯はつづけられたのであるが、打ちつづく通貨縮少は先づ公債價格の低落となり、新公債發行を困難ならしめると同時に、一方金融業者に影響してその經營を困難ならしめ、ますます政府公債の發行條件を不利に導いた。

同時にかかるデフレーション現象は商工業經濟にも強く作用して、破産・倒産相踵ぎ、一面國庫の收入を減少せしむるとともに、他面都市經濟を根本的に崩壊過程に導くに至つたのである。すでに都市經濟の依存する農業經濟は壞滅に瀕し、いままた都市經濟に恐慌が訪れた。かくして支那の全國民經濟は完全に恐慌状態に陥つたのである。

#### 四、法幣の出現とその成功

以上の如くにして一九三五年に於ては、支那の農業恐慌は全國的經濟恐慌となり、金融組織並に貨幣制度の根本的改革を施すにあらざれば、國家財政、國民經濟の全的破滅をさへ招來せんとするに至つた。しかも同年十一月一日朝、六中全會の開會式に際して、行政院長汪兆銘が兇漢に狙撃せられて重傷を負ひ、南京に戒嚴令が布かれ、財界の不安はその極に達したのである。

ここに於て、國民政府は十一月四日、同三日附を以て「幣制緊急令」を公布し、(一)「十一月四日以後、中央・中國・交通三銀行發行の紙幣を以て法幣 (Legal Tender 法貨) と定め、公私一切の收支は均しく法幣のみを以てし、現銀の行使を許さざるこゝと、(二)三銀行以外の各銀行發行の紙幣は暫時従前通りの行使を許すが、現在の流通額を限度として増發を認めず、且つ漸次法幣を以て兌換回收すること、(三)財政部代表と銀錢業公會、商會および銀行代表の共同組織を以て發行準備管理委員會を組織し紙幣發行の準備金を管理すること、(四)銀貨および銀地金を所有するものは指定機關

に於て法幣と兌換すべく、隱匿乃至密輸出するものは嚴罰に處すること、(五)從來の銀本位貨幣による契約は均しく法幣を以て收支すること、(六)三銀行は無制限に外國爲替の賣買をなすことと定めた。以上六項を基本として、銀國有、爲替の對英一志二片半釘付け、通貨の法幣への統一といふ劃期的な幣制改革を斷行したのである。

發行銀行は翌一九三六年一月より中國農民銀行が加はつて四行となつたが、とに角、かくの如くにして、後に蔣を日支戰爭に驅り立てたところの法幣が生誕したのである。

政治の基礎未だ全く確立せず、平面的な經濟組織の支那が、かくの如く通貨制度にのみ飛躍的の統一改革を計畫することは、理論上のみから考へれば、餘りにも無暴の舉であつた。況んや支那に於ては、古來より貨幣制度の發達が前述の如く變態的な經路を辿り來り、素材價值が名目價值におよばない關係上、馬蹄銀の如き秤量貨幣でさへもが、その授受の手數の煩雜さにも拘らず、最も有力に流通したほどの銀本位國で

ある以上、管理通貨制の如き何等金屬と關りない高度の紙幣通貨が、全國に流通する道理はない。大體かくの如き悲觀的な觀察が、當時最も信憑すべき妥當性として、各方面より述べられたのであつた。

しかし、事實は法幣は當時傳へられた英國の法幣確立のためのクレジット設定を見る必要もなく、着々成功の路を辿つた。銀の國有は先づ、中央銀行が中南・中國農工二銀行の、中國銀行が四明・中國實業二銀行の、交通銀行が中國通商・浙江興業・中國墾業三銀行の、中國農民銀行が各省立並に地方銀行の準備銀をそれへ接收し、在支外國銀行の所有にかかる現銀も政府系四銀行の手に漸次引渡され、發券銀行の統一は嚴として維持せられ、發行準備管理委員會の統一管理は上海・北京・天津に於て實現し、外貨の無制限賣却は今次事變勃發まで滞りなく遂行され、流通地も漸次邊疆地區にまでおよんだ。かくて、改革第一年末には四行法幣發行高は六億六千八百萬元、翌年末には十二億四千二百萬元に増大したのである。

われへはここで、銀貨國たる支那が同時にまた、世界最古の紙幣通貨國でもあつた事實を想起せねばならぬ。歴史に徴するに、すでに一千數百年以前の唐・宋時代に早くも紙幣流通の記録があり、現在に於ても地方小都會などに於ては、信用ある商店の發行せる銅貨紙幣などが圓滿に受授せられ、さらに巨額の取引がすべて一種の手形を以て何等支障なくなされるなど、信用證券流通には古くから訓練せられ來つた國なのである。

この點だけでも、法幣制度の成功は當然であつたのであるが、殊に國民政府の基礎確立が一層これを助成したものである。なほ其の上、前述した米國に於て銀政策の不安が起つたことが更に新幣制の維持に有利に働いたのである。即ち、幣制改革の翌一九三六年には世界の銀は米國銀買上法發布前の安値に落ち、米國のいはゆるシルヴァー・メンの苦惱と支那の在外爲替資金獲得の困難とは、このため完全に利害の一致を見ることとなり、同年五月米支銀協定の成立を結果した。かくして多額の銀が米國へ

輸送されて在外資金を形成し、管理通貨の基礎確立に偉大な効驗を與へたのである。

英國は當初より幣制改革の立役者であり、支那通貨の磅ブロックへの引入れの指導者であつたから、英國への銀輸出が莫大に上つたことは、敢て附加するまでもない。とに角、一九三五・六兩年に於て、銀の純流出は合計三億九百萬元にも上つたのである。

幣制改革成功の因子はそれのみではなかつた。一九三六年は支那は二十年來の大豊作に恵まれ、二・三十億の富を増加したとまでいはれ、南洋地方の好況はその地の華僑送金を前年より六千萬元増の三億二千萬元にも上らしめ、輸出貿易の好調は入超額を前年より一億一千万元も減少し、彼此相俟つて同年の在外正貨は十億に達したと見られ、いよ／＼法幣制度の基礎を安固ならしめたのである。

財政經濟の崩壊を喰ひ止めようとして、止むなく投げ出した最後の切札たる幣制改革は、かくして英米の支持と蔣介石の支配力増大と、それにもまして好運の連続とに

よつて、美事に豫想以上の成功を致し、それがまた逆に蔣政權の支配力を強化することとなり、やがて更に一轉して、彼をして今日の地方政權への顛落を餘儀なからしむる事變惹起の契機ともなつたのである。

### 五、事變と國民政府の抗戰財經力

戰爭遂行のための戰費捻出方策は、(一)公債發行、(二)租稅增徴、(三)紙幣増發、この三者を出でない。

盧溝橋事件から戦火が上海へ飛び移つたころ、現状不變を希求せる民主々義諸國は、支那の財經力を比較的高く評價し、財政經濟の崩壊は先づ日本に於て顯現するであらうとの觀察を下した。これに反し、わが國に於ては支那の財政經濟力を極度に脆弱視し、その崩壊はまさに半歳を出でずして來るであらうと觀察する論者が多かつた。その後戦線が擴大され、連戦連勝が常態となるにおよんでは、この一部國民の希望と推

理の混淆はますます甚だしく、日々々々、支那の財經的屈服を近き將來の必到事態として待望するに至つた。日本人としてかかる事態の來ること速かなるを冀ふ心は洵に當然ではあるが、しかし、單なる希望はあくまでも希望であつて、現實ではない。

もとより、支那の中央財政はあの大國に似合はず、中央の總豫算が十億元を突破したのは事變勃發の當年が初めてであり、しかもその小額の歳入豫算さへもその一割乃至二割が公債・借入金で賄はれ、事變前すでに整理中のものにも四十五億元、英貨にして二億七千三百万磅の内外債が累積してゐたのである。また租稅體系は間接消費稅を絶對的中軸として、伸縮性を缺如し、經濟は前述の如くして特異な形態の下に未發達である。したがつて表面的に觀察すれば、希望が現實と誤認せられたこともあながち無理とのみはいひ切れないのである。

しかし、そこには深く靜思すべき支那の抗戰餘力がかくされてゐたことを知らねばならぬ。

本來、支那の稅制上に於ては、國家稅と地方稅とは全然混同せられ、その間截然たる區別がなかつたものである。即ち、支那の稅制はその制度上に於てこそ、各種租稅の收入は等しく中央に統轄せられ、地方政府の徵收した租稅もすべて國家の收入と見做され、各地方政府が地方經費を支辯しても、畢竟國家の經費としてこれを支辯するものとせられてゐるのであるが、實際の取扱は永年の習慣から全くこの成規を裏切り自ら國家收入と地方收入とが全然混同して區分なきに至つてゐたのである。かくて中央財政豫算のみを見るならば、餘りにも小額で到底この大事變は賄ひ切れなはずであるが、事實は表面にあらはれない省・縣・市の地方財政收入が中央財政收入のほかにあり、それが中央と混同せられてゐる結果、豫想外の實勢を包藏するのである。

しかし、この中央財政收入は、例へば一九三七年度の豫算についてみれば、總額の七割七分三厘までが關稅・鹽稅・統稅（煙草、燐寸、麥粉、綿絲、洋灰等に對する消



費税)のいはゆる三大間接税を以て構成される。そのうち、關税はわが沿岸航行遮斷と重要貿易港の全部を次々に喪失せる結果、蔣政權の手取は激減した。假りに昨年全年分の貿易額について計算すれば、輸出六割三分、輸入六割七分までがわが占據地内各港のものであり、それだけに蔣政府の關稅收入は大約三分の一以下に激減したと見られ、鹽税は事變以來その六割を喪失し、統税も亦た荷動きの中心地帯が攻略せられたから、著減したとはいふまでもない。

かくて、蔣政權は既存の間接消費税増徴と各種新税の設定によつて、本來の彌縫財政をさらに修覆してゐるのであるが、他方、自國民搾取と援蔣國家の動員による内外公債政策も亦た極めて活潑で、整理中の公債のみでも、本年一月現在内債二十七億九百四萬元、外債十九億七千七百六十九萬元に上り、事變以來本年六月十二日までの既發戰時債中央分六種、地方分十一計十七種、人口一人當り事變前より約四元以上も増加したのである。

しかし、打ちつづく敗戦は海外公債市價こそ豫想外の好調を持續してゐるものの、漸次公債公募の困難を加重し來り、發行條件の急速な惡化は何としても蔽ひ難いものがある。

地方財政亦た然りで、頻りに雜税の種類と税額の多きを加へながら、容易には所期の增收を擧げ得てゐない如くであり、それだけに民衆搾取の強行せられてゐることは想見するに難くない。

ただ支那は無組織の國である。無組織の有つ潜在力は有機的な國家の尺度では計り難く、そこには無組織から來る絶大の力がかくされてあるのである。それに本來、支那に於ては物資の無償徵發はもとより、強制募兵さへ難事ではないことをおもはねばならない。それにしても、右の如き實情からすれば、唯一の殘されたる、而して比較的戰費調達が可能なる方途は、通貨の増發、この一途とならざるを得ない。ここではじめて法幣の偉力が判然とあらはれて來るのである。

## 六、法幣と國民政府の戦時金融統制

さて、蔣をして今次事變を誘發せしむるに與つて力あつたものは、幣制改革の斷行とその成功にあつたと斷じてよい。即ち、幣制改革が行はれて後、法幣が豫想外に迅速に國內に普及流通せられたことが、むしろ事變を勃發せしめた基底的根據をなしたともいひ得るのであつて、これにより、一面法幣といふ不換紙幣を通じて蔣と民衆との緊密なる紐帶が發生し、他面従前支那の流通市場を支配し來つた銀を固有の名儀の下に政府の手に集中して海外に送り、かくして法幣として簡理通貨としての機能を發揮せしむると同時に、あとにも述ぶる如く、その尠なからぬ在外爲替資金を以て莫大なる軍需品の輸入をなし得たのである。ゆゑに見様によつては、幣制改革が成功してゐなかつたら、蔣の抗日戦準備は内外物心兩面にわたつて完成せず、ひいて事變は彼の恣意によつて惹起せしめられることがなかつたのであらうと考へられる。また若し

假りに勃發したとしても、かくも大規模な戦争状態にまで擴大されることはなかつたであらう。

法幣はかくして抗日戦を準備し、長期戦を可能ならしめた有力な要因であつたのである。

事實、幣制改革當時クレジット設定までも敢てして、その成功を保證せんとした英國政府は、法幣によつて表現せらるゝ在支權益擁護のために、事變後も香上銀行を第一線として法幣價值の維持に力を與へ、蔣政権また法幣を通じての民衆の支援と抗戦財力の確保に狂奔せる結果、事變勃發後も永らく對英一志二片の基準相場を持続した。

而して昨年三月中國聯合準備銀行の設立による聯銀券と法幣との正面抗爭、およびその後引きつゞく記録的敗戦によつて、同月十四日法幣價值下落の第一歩をふみ出した。こゝに於てか國民政府は矢繼早に各種の統制法規を公布して防戦につとめた

が、それは却て不必要に法幣爲替の下落をもたらす結果となつた。即ち、これ等統制規程によつて、外貨供給を制限し、輸出統制を通じて政府の外貨取得條件の良好を狙ひ、輸入統制によつて外貨減退を防止し、かくて輸出入外貨の需給調整を圖つたのである。しかし事實はそのため、却つて思惑を助長し、人氣の動搖を招いて逆に法幣價值の下降を早めることゝなつた。

それにも拘らず、法幣はこれを對外的に見れば、最近までよく八片の大關門を維持しつゞけ、對内的に見ては何等の動搖も窺はれない。對外價值維持については後述するところに譲り、こゝで先づ對内價值について検討すれば、國民政府は法幣の増發を極度に抑制し、幣制改革當年たる一九三五年末と三六年末との比較増五億七千八百萬元、三六年末と三七年末との増三億七千九百萬萬元にも拘らず、三七年末と昨三八年六月末との比較増は僅々八千七百九十萬元に過ぎず、その後の發表は中止のため不明としても、準法幣たる民間七銀行券推定發行高約八千萬元を加へて、今日なほ十九億に

は達しないと觀られ、殆んどインフレーションの徴候を示してゐないやうである。

本來、支那の國民生活は本質的に國際貿易に依存する程度が低いのであるが、殊に事變以來蔣政權治下の民衆は極度の自給自足經濟を強要せられてをり、したがつたとへ漸減しつゝある在外正貨が全く涸渴し、英國の支援が熄み、法幣の對外價值が崩壞してその對外購買力が零に歸したとしても、支那の國民生活には直接の致命的打撃を與ふるものではない。殊に民衆の法幣に對する信頼の度は極めて根強く、國民政府亦た發行間もなく回収することにつとめてゐることが想見せられるので、法幣の對外價值崩壞は以て直ちにその對内價值崩壞とは觀られ得ないのである。

それにしても、この大戦争に於て法幣の發行高が上述の如く少額に止まることは、一見不可解のようである。いかにインフレーションを惧れるとはいへ、尨大な戦費を賄ふには餘りに少額に過ぐることが明らかであるが、しかしそこには支那の有つ經濟の無組織にもとづく潜在力があることを忘れてはならない。即ち蔣政府は事變以來、一

面に於て「金融安定辦法」を首めとする幾多の金融統制法規を公布したが、それともに生じた金融逼迫に對しては「金融安定補充辦法」に規定する匯割の流通を認め、「金融安定追加辦法」によつて小額預金の引出を許し、「四行内地聯合貼放委員會割引貸付辦法」、「地方金融機構改善辦法」によつて地方金融の疏通を圖り、兼て資金撒布の政府統制強化をも掌握し來つたほか、江西裕民・建設・南昌市立の三銀行と江西省財政廳との聯合による幣券發行保管委員會の補助紙幣四百萬元の發行を認むるなど、多數の地方通貨を發行し、法幣供給の不足を補ふに努力し來つたのである。

しかるに、問題はかゝる政府の金融政策以外にも、支那固有の打開路のあつたことにある。幣制改革後法幣は順調に流通範圍を擴大しつゝあつたとはいへ、たとへば廣東省の廣東省銀行券、廣州市立銀行券を綜合せる毫幣等の地方紙幣が存在することである。一九三七年六月即ち事變直前、毫幣の發行高は廣東省銀行券三億二千九百八十八萬九千元、廣州市立銀行券八百六十六萬元、合計三億三千七百八十四萬九千元の多額

に上つてゐたほか、省内にはなほ香港弗、澳門弗の流通も許容せられてゐたのである。かゝる地方紙幣はひとり廣東省のみならず、四川その他の奥地はもとより、各省に古くより存在し、且つ事變後はなほ多額に流通せるものとみざるを得ない。最近に於ても、山西省等に於て、この種地方紙幣の新發行が續々認可せられてゐるといふ。

かくて、國內戦費は法幣増發によるインフレーションを防止しつゝ、なほ且つ或る程度調辨し得たのであつて、今後はこの種の見えざる金融通貨政策は一段と強化せらるべきことが豫想せられるのである。

## 七、在外資金の集積と法幣

何といつても、蔣政府の抗日財政經濟の實力的背景は、その保有し來つた在外正貨である。國民政府公債の海外市價が、連戦連敗と財政惡化から、昨年末現在すでに十六内外公債の元利支拂停止をさへ餘儀なくせられたにも拘らず、豫想外の高値を維持

しつゝあつた根因、いひかへれば、諸外國の對支財政信用を確保し來つた根因も、もとより在外正貨の豊富さにあつたのである。而して軍事的に今日まで、軍需工業の發達せざる支那が抵抗し得たのも、その在外資金を以て武器の輸入を繼續し得たによるのであり、法幣が崩れんとして崩れざることは、何よりもその支柱をなす在外資金の力であつた。

しからば一體、支那はどれほどの在外資金を擁してゐたか。もとより、その正確な金額は何人もこれを悉かになし得ない。たゞ、事變二ヶ月前財政部長孔祥熙が倫敦に於て發表せるところによれば、當時支那は紐育に一億二千萬金弗、倫敦に二千五百萬磅、公定換算率による支那元換算八億三千五百萬元の在外正貨を保有してゐたといはれる。しかるに、その後於て昨年五月一日、鹽稅收入を擔保として、主として米國および南洋在住華僑をして應募せしむべく「民國二十七年金公債」が海外に於て發行せられた。この公債は海關金單位公債一億金單位、磅公債一千萬磅、弗公債五千萬弗

の三種にわかれてゐるが、これを二・二五二金單位、一志二片四分の一および二十九弗半でそれ／＼元に換算すれば、總計五億六千三百萬圓に上るわけである。而してそのうちいくばくが應募せられたかは別として、とに角、應募せられただけは外貨の補充となつたこといふまでもない。

しかも外貨補充はそれのみではない。事變發生以來本年第一四半期末までの支那海關統計にあらはれてゐる金銀の輸出額のみについても、總額五億四千五百萬圓の多きにおよんでをり、その上さらに在外正貨の補充に充てられたと想像せられ得る各種のものについても、例へば國民政府の手によつて直接海外に輸出せられた桐油、タングステン、モリブデン、アンチモニー、錫、鉛等の特産物賣却代金、また同政府が窶かに海外に搬出賣却した夥しき古美術品によつて獲た資金にしても、その額は決して輕々に看過し得ないであらうと考へられる。加ふるに、事變以來の貿易は支那として稀に見る好調を呈し、輸出の獎勵、輸入の抑制の結果、抗戰二年の入超額を

合計しても、戦前一ヶ年のそれとほぼ等しい位に過ぎないのである。かくて、事變前後を通じて集積せられた在外資金は、もとより新たなる集積分以上に遙かに多額の費消はあつたであらうが、英米の支援と相俟つて、とに角今日まで莫大なる武器の輸入を保證し得たのである。

無準備のうちに開戦を強ひられたわが國と異り、支那側は永年にわたつて先づ國民の抗日思想教育から染手し、着々根本的に抗日軍備を整備しての挑戦である。したがつて、武器彈藥はたしかに相當豊富に蓄積せられてゐたに相違なく、また國內貯藏資材によつて戦ひ得る割合も必ずや豫想以上であつたと考へられる。それにしても、輸入に俟つべき抗戰資材が國內資材よりも尠いとは絶対に考へられない。支那金融の權威イー・カンが昨年六月二十二日發表せるところによれば、支那は一ヶ月約一億五千萬元の戦費を要したといふ。いかに準備完了せりとはいへ、重工業・化學工業の發達せざる支那が、よく長期にわたつて國內物資により戦ひ得る道理はないから、一年



間累計十八億圓の戦費のいくばくが外國への支拂となつたかは判然と算出し得ないとしても、とに角相當の巨額であらうことは容易に想察され得るところである。

しかるに彼は、この巨額に達する軍需品を多少の不自由を別としても、なほ且つ上述の如く海外より購入し來つたのである。これは全く一面に於ては外貨を通じて信用を維持し、他面在外正貨を以てその支拂に充當し得たからにほかならない。ゆゑに、外國の信用を多かれ少なかれ損ふこと明らかな外債利拂停止の如きをまで、前述の如く行はざるを得なかつたことは、一應いかに國民政府財政が困窮に陥つたかを窺はしむるに充分な證だといはねばならない。

しかしながら、これは從來外債支拂の主要財源であつた關稅・鹽稅の收入が新政府の手に歸することとなつたためではあるが、それと同時に、たとへば本年一月十五日の聲明の關稅擔保債務利拂停止には、そこに多分に外交的駭引を含ましめたことを否定すべくもない。即ち、右支拂停止は、被占領地海關の負擔分に關するものであつて、

不拂の責任は一切日本側にありとする列國の同情獲得手段であり、同時にそれによつて、側面より英國に日英海關協定の廢棄を慫慂せるものともみられるのである。

とに角、公債の信用を維持し、在外正貨の補充を圖り來つたことは叙上の如くであるが、このほかなほ事變勃發後蔣政府は銳意對外借款の獲得に努力し、對米小麥、對米桐油、中法鐵路、英支、蘇支等々各種の借款契約が成立した旨相踵いで傳へられた。そのいづれがいくばく成功したかは不明であるが、英國團匪賠償金管理委員會が昨年三月發表せるところによれば、一九三七年開戦後國民政府との間に成立せる借款總額は三千八十八万四千五百萬元であるといふ。

しかるに昨年十二月十五日、英米兩國との間にそれより一千万磅および二千五百万弗の大借款が成功した。前者は英國輸出信用保證局が蔣政府の鐵道建設に對して保證を擴充し得る旨規定せるものであり、後者は米國のユニヴァーサル・トレイディング・コーポレーションに對し、華盛頓の輸出入銀行が信用を供與し、米國の對支農工

產物輸出と支那の對米桐油輸出を目的とする金融援助を規定したものであつた。

右兩クレヂットとも、多分に對日軍事行動牽制の意義を有つことは明らかであるが、同時にそれは反面からみれば、支那財政への多大の援助であり、支那の在外正貨の激減をカバーし得るために大いに役立つたことは争ひ得ない。

かくの如く、蔣政府の抗戰財政に於ける在外正貨は、一つには同政府の積極的補充方策、二つには反日的諸國の、現實には支那を半植民地化せんとする我利的同情によつて、必ずしも容易且つ全的に涸渴するものとのみは斷じ得られぬものがあつた。いひかへれば、法幣が蔣の抗戰意圖を誘發し、法幣出現を裏付けした銀國有が抗戰繼續を可能ならしめつゝあるのであるから、支那事變は、支那の在外正貨の蕩盡を俟ち、法幣を壞滅せしむるか、或は法幣の基本的背景をなす在外正貨を枯渴せしむるよう工作することを要求しつゝあるのであつて、こゝに日本側の全體戰的戰略の一基調が賦與せられてゐるのである。

しかしやがてその日は近づき來つた。少くとも近づかんとしつゝある。最近の法幣攻防戦の動きは、その徑路を多かれ少なかれ、顯示してゐるのである。

### 八、第一次法幣崩壊過程

預金の引出制限、法幣の増發抑制等の國內金融政策と在外正貨の補充策、並にそれとの關聯に於て上海に於ける政府系銀行の自由爲替賣應じとを通じて、支那の法幣は事變勃發以來八ヶ月にわたり、戦敗國の通貨でありながら、なほよく一志二片四分の一爲替相場を堅持した。

しかるに、昨年三月十日中國聯合準備銀行がその業務を開始し、新紙幣による法幣その他の北支流通紙幣の回収に乗り出すや、間もなく軟化しはじめ、五月末には徐州敗戦のため十片四分の一へ暴落し、六月早々開封陥落の影響によつて十片を割り、同月十三日に至るや八片丁度の唱へを出し、七月に入るや九江占領の市場人氣動搖は抑

へ難く、八月一日遂に八片臺割れ七片八分の七の新安値を示顯せざるを得なかつた。これが即ち法幣の第一次崩壊過程である。

法幣の第一次崩壊の直接的動機は、皮肉にも國民政府の對日通貨戦の布石にあつた。即ち、中國聯合準備銀行の設立により、日本が北支の法幣を回収して上海へ運び、これを以て外貨を買入れ、かくして法幣の基礎を攪亂するであらうとの豫測から、蔣介石は上海で法幣による外貨の自由取得を抑制するため、聯銀開業五日目の三月十四日、突如として中央銀行の爲替統制賣を停止し、外國爲替の賣却は専ら漢口の中央銀行を通じてこれを行ふこととし、外國爲替を買求めんとする銀行は毎週木曜日までに同行本店または香港（後に上海も加はつた）辦事處に申請して、翌日割當を受けるといふ爲替割當制を實施した。

しかし、中央銀行の外貨手持が減少した結果、その當時に於ても毎週四十數萬磅程度以上は賣應じ得なかつたのであつて、法幣第一次の崩落は、徒らに爲替資金不足を



明るみへ出したに過ぎなかつた。市場の不安はいよ／＼煽られ、一方外貨の供給は統制賣中止當時、申請額の六割近くの割當があつたにも拘らず、四月末には三割程度、五月末には一割五分、六月末には僅々五分、七月末にはさらに二分と激減し、八月八日以降は遂に前年末までに契約済みの輸入に對してのみ、爲替割當をなすに過ぎなくなつたのである。

それにも拘らず、六月以來の八片の大關門は爾來多少の動搖はあつたにしても、對内價値は未だ動搖せず、對外價値も約一年にわたつて大體維持せられた。管理通貨でありながら、その在外資金の不足を示せるに拘らず、かくの如く堅調であつたことは、一體、いかなる原因にもとづくものであつたか。

低爲替の輸出貿易に有利なことは多くいふを要しない。國民政府はさきに見た輸出代金の政府集中、輸入の非常管理につとめて、極力手持外貨の減少防止を圖り、華僑の總動員を通じて國內送金、募債に努力しなどして、相當法幣の基礎鞏化につくした

が、それにもまして法幣の價値維持に至大の力をあよぼしたものは、英國の對支援助であつた。

管理通貨の死命は外貨によつて制せられる。法幣が八片相場を割らんとするや、香港銀行は常に巨額の買支えに出動した。いふまでもなく、英國は支那に最初にその資本主義的搾取の手を延ばした國であり、その有する在支權益は極めて莫大に上る。而してその經濟權益のすべては法幣によつて表現せられる關係上、法幣價値の低落は現實主義の英國として忍び得べきところでない。一つには蔣政權を援助して權益の増植を圖り、二つには營利の意慾を満たすべき絶好の對象が法幣であつた。

かくして本年三月八日、英藏相サイモンの下院に於ける援蔣方針表明と同時に、香港に英支共同出資の法幣維持資金設定が發表せられたのである。

法幣維持資金は、英國側は香上（滙豐）<sup>Chartered Bank</sup> 渣打（麥加利）<sup>HSBC</sup> 兩銀行が前者三百萬磅、後者二百萬磅、支那側は中國、交通兩銀行計五百萬磅、總計一千萬磅の出資により、そ

の運用は各出資銀行代表と、英國出資銀行の承認を得て國民政府の指名する一名（實際は英國人）計五名より成る管理委員がこれに當り、爲替の賣買はこれ等四銀行のいづれかへ行ふことゝなつてゐる。これによつてとに角、法幣の基礎は相當の鞏固さを加へたが、その代り、さらぬだに英系通貨の色彩の濃厚な法幣の實態は、完全に英系乃至英國の通貨たるが如き地位に陥ることゝなつたことは、蔽ふべくもない。

### 九、第二次法幣相場の崩落

本年六月七日、法幣安定資金運用委員會の決議にもとづき、香上・麥加利兩管理銀行は突如、銀行間取引による外貨賣を停止し、實需あるマーチャントに對してのみ七片四分の三の新安値相場を以て外貨に賣應ずることを聲明した。

これにつき右委員會は九日香港に於て、（一）法幣安定資金は急激な流出なく、法幣は依然安泰である、（二）一時的に法幣援助を中止して、より自然な經濟水準に於て安

定するを待ち、それによつて支那の入超を防止する、（三）昨年六月八片の水準を見出したと同様の措置である旨聲明した。その主因が果して新水準發見にあつたか、或は資金の減少にあつたか、乃至は政治的に華興商業銀行券への挑戦にあつたかはいろいろ論議せられたが、とに角、法幣價值が引下げられたことだけは確固たる事實であり且つ英國の援蔣態度が不變の今日、急に法幣援助の拋棄も考へられないから、主因はやはり新水準發見にあつたとみてよからう。しかしその他の原因にしても、すべて多かれ少なかれ何等かの力をよぼしてゐたことは一點疑ふべくもないのである。

當初昨年度全支貿易の入超一千萬磅を基準として、安定資金一千萬磅を設定すれば大體爾後一年間の法幣安定を來し得るとみられたにも拘らず、本年第一回半期の全支入超はすでに一千萬磅に達し、上海のみでも四百九十五萬磅の入超である。たとへ圓札決済の輸入が相當多額にあるとしても、法幣が實力以上に高く評價せられることはそれだけ入超を多からしめるのである。すでにそのため一千萬磅の安定資金は僅々二

ヶ月半にして五百萬磅乃至七百萬磅を喪失し、第二次安定資金の設置さへ問題に上つてゐると傳へられた。もし然りとせば、八片四分の一を以てする法幣安定點は、到底維持至難であつて、一面法幣資金の涸渴化への動向を判然と示しつつ、他面今後の法幣維持への決意を表明したものが第二次の法幣崩落であつたといふべきである。

但しそのみが原因とみることは何としても早計の譏を免れ得ない。中支新幣制が法幣を通じて外貨を獲得せんとする方針を事實上採つてゐるため、第一次の北支聯銀券出現の際と同様、極力その妨碍をなさんとする意圖の含まれてゐたことも、充分観察するに難くない。要するに、外貨の減少に伴ふ新安定點の發見と、新秩序工作への反撃、この二つが右の對策を産んだものといひ得よう。

而してこれをさらに見方をかへていへば、法幣の前途は全く英國の意志いかんにかゝることゝなつたといふことである。その限りに於て、權益の擁護と、純然たる援蔣と、そのいづれに今後英國が重點ををくかゞ、決定的要因となるわけである。

いづれにせよ右の如くして、法幣は六月八日の香上銀行のマーチャント賣相場は六片半、九日には六片八分の五の呼聲も出たが、大體六片半の點に維持せられた。事變前に比し、五割三分の下落となつたのである。

しかるに六月二十二日、上海の銀錢業公會（銀行組合）は國民政府財政部の「銀錢業支付存款限制辦法」による命令にもとづき、先づ同日より三日間として、預金引出一週間五百元のモラトリアムを布いた。上海事變發生直後の第一次モラトリアムについて、今回のそれは第二次であり、さらに徹底したものである。而してこれは、同時に公布せられた「戰時財政金融政策大綱」にも示される如く、前年の金融安定辦法の強化であり、一つには資金の海外逃避を防止し、二つには日本側に對する法幣の流入を阻止し、三つには法幣の供給制限によるその相場の引上を圖らんとする意圖とみて差支えない。

かくの如くにして支那事變は戰闘工作の一應の區切りとゞもに、いよいよ日本對英

支の金融通貨戦に轉入し來り、ますます事變の有つ本質を複雑ならしむるに至つたものといふべきである。

### 一〇、北中支新幣制工作の進展

上來屢述せる通貨戦に於て、しからばわが國はいかに戦つたであらうか。先づ蒙疆地區に於ては、昭和十二年十二月開業の蒙疆銀行が中心となつて、同行發行券が新法貨と定められ、滿洲國々幣との等價交換協定を通じて日本圓と連繫し、したがつて對外爲替相場は一志二片堅持の建前となり、着々舊紙幣を驅逐して、新秩序建設に邁進するに至つた。

越えて昨年三月十日、中華民國臨時政府と支那民間銀行との折半出資五千萬圓を以て、同政府の下に中國聯合準備銀行が北京に開業し、天津ほか各地にも支店が開設せられた。わが銀行シンデケート團はこれに對して一億圓のクレジットを供與援助した

のである。而して同行の發行する聯銀券は、日本圓との等價連繫によつて、對外價值を同じく一志二片と定め、日・滿・蒙疆・北支を通じて、こゝにはゆる圓ブロックが結成せられたのである。

そこで問題となつたのは舊通貨驅逐である。臨時政府は「舊通貨整理辦法」を公布し、(一)中國銀行または交通銀行紙幣にして券面に天津または山東の銘記あるもの(北方券)、並に河北省銀行および冀東銀行の紙幣は、辨法發布の日より一年間を限り流通を許すこと、(二)中國銀行または交通銀行紙幣にして券面に天津または山東の銘記なきもの(南方券)、並に中央銀行紙幣は三ヶ月を限り流通を許すこと、(三)雜券は短期の流通を認め、實情に即して整理すること、と方針を闡明したのである。

かくて昨年六月一日には既定方針通り、南方券の流通は禁止され、同三日には北方諸券に新規並に再度の發行を禁じ、八月七日にはそれまで當分の問圓元等價で交換回收しつゝあつた法幣の交換比率を一割切下げ、本年一月三日には五十日間の猶豫期間

を附し、即ち二月二十日にさらに三割切下げ、計四割減價を以て交換することとし、漸く三月十一日舊法幣一切の流通を禁止した。たゞその際、民衆の利便を慮り、北支を新秩序地帯と匪區地帯とに区分し、後者に限り當分の間舊法幣の流通を容認することとしたことは、現在に於て、止むを得ないところであらう。

中南支の新幣制工作は維新政府成立以來の最大關心事であつた。嘗に重大關心事たるに止まらず、また最大の難問題でもあつたのである。すでにその胎動を感じはじめたより十數ヶ月、漸く本年五月一日に至り上海に維新政府と日本側六銀行各二千五百萬圓出資を以て、華興商業銀行が設立せられ、強制通用力を有する華興券が發行せられるに至つた。しかし華興券は聯銀券と異り、何等法幣驅逐を目標とせず、むしろ法幣と並んで流用せしめ、その對外價值もしたがつて大體に於て法幣に追隨して變動する仕組になつてゐる。

さて、かゝるわが國の新秩序工作に對して、國民政府がいかなる衝擊を受けたかは、

さきに見た狼狽對策が、むしろ却つて第一次第二次と引きつゞく法幣崩落を招來したることによつて、想察され得るのである。しかしながらそれにも拘らず、聯銀政策にしても華興券政策にしても、遺憾ながら、未だ法幣と代位して支那新秩序に君臨獨裁するまでに發展してゐるとは、簡單にいひ切れない状態である。武力戰の成果が何等批判の餘地を残さない輝かしさであるに對し、經濟戰のそれにはなほ多くの研究餘地と困難があることを知らねばならぬ。

聯銀券は眞正面より法幣に對して抗爭を挑み、政治的に金融支配を獲得することを目的として生れたが、外貨の關係上、國內通貨としての地位を有し得るに過ぎず、加ふるに、その流通豫定地域に於ける法幣相場の前述の如き低位のために、容易に外貨の獲得も出來ず、甚だしく不利な初期を過した。

こゝに於て昨年十月五日、臨時政府の輸出入リンク制實施と五百萬圓の外國爲替資金設定となり、はじめて貿易通貨としての現實の通路が拓かれたが、法幣爲替の低位

と租界内に於ける妨碍は、聯銀券を國內通貨たるの地位に止まらしめたから、遂に本年三月十一日法幣の流通禁止と同時に、北支重要輸出品十二品目の輸出はすべて一志二片ベーシスの爲替を取組み、それを聯銀側に賣却せざる限り、海關は輸出の許可を與へぬこととしたのである。ゆゑに法幣爲替はその他の重要ならざる輸出品か、しからざれば密貿易にあらざる限り、利用し得ないこととなつたわけで、聯銀券の貿易通貨としての現實の發足は、その第一號發行以來一年にして漸くはじめられたのである。中國臨時政府は最近この貿易統制をさらに強化し、北支全輸出品に對して上述の許可制を擴充することになつたと傳へられる。租界問題の解決とともに、その曉にこそ、聯銀券の統一通貨としての地位が確立されるのである。

右の如くにして、北支に聯銀券完全支配の日の來ることは必らずしも遠くはないであらう。たゞ問題は治安の恢復と租界問題の歸趨いかんである。匪區内で法幣が流通し、租界を通じて法幣輸出爲替が集まることに問題が残されてゐるのである。上海に

於ける第二次法幣暴落に追隨して、天津の法幣相場も暴落したが、それでもなほ雜銀券に對する法幣のプレミアムが依然二割内外を維持し、上海モラトリアムに際してはじめて一時的に法幣に對する聯銀券のプレミアムがついたといふ如き情勢は、新秩序に反抗する諸勢力の執拗さと、法幣そのものゝ根強さとを充分に物語るものであらう。

聯銀券發行後一年間の右の如き困難に鑑みて、華興券は、急激に法幣が崩落した場合、民衆の受くべき困惑を慮り、貿易面より國內面へのスムーズな移行に俟ち、中支經濟支配の基礎的金融力育成を、經濟部面そのことより招來せんとする方策によることとした。即ち、華興商業銀行は資本金五千萬圓全額拂込、全額外貨準備を以て生れ、華興券は法幣と pari の市場價值、發券は經濟的方法のみによるものであつて、對外的に實力を保ち、現在その地の通貨たる法幣が保持する對外價值と距りない通貨である。それだけに一見頗る消極的であるのみか、見様によつては中支幣制に複雑性を加

へたかにおもはれる。

しかしそこが却つて強味である。勿論法幣相場が異常なる低落を來した場合、自主的に法幣と絶縁する豫定であり、それまで法幣と並ぶ貿易通貨として長江貿易に於ける日本人の優位確立に力を與へ、ひいて漸次民衆の信用を得て國內通貨としての地歩を固める方針のやうである。たしかに中支通貨として賢明な行き方である。

しかし、聯銀、華興兩新通貨を通じて最も大切なことは、それ／＼臨時、維新兩政府が民心を速かに收攬することである。一應法幣驅逐工作の成つた前者にしても、未だ完全に民心に喰ひ入つたとはいひ得ない。民心の支持なき限り、信認なき限り、法幣はあくまでも反撃するであらう。それには治安の恢復が第一條件となる。通貨經濟工作が戦闘工作と併進せざるべからざる重大性と困難性が、こゝに見出されるのである。

かくて、軍事的治安工作と相並ぶ經濟的治安工作が、いよ／＼緊要となるのである。

### 一一、圓ブロック輸出制限問題と

#### 東亞新秩序の建設

軍事と經濟兩方面の争闘が事變の現段階とすれば、即ち今や事變は人心收攬戦に入つたのである。殊に信認を基礎とする通貨戦に於ては、人心獲得は何よりの根底でなければならぬ。治安は人心の落付きと安居樂業し得る環境とによつて招來せられる。こゝに於てわが國の通貨工作は、必然その裏付けとしての對支那品供給の潤澤を要求するのである。

しかるに事實は昨年六月以來、邦品は圓ブロック向輸出制限を受けて、新秩序工作の要求に聊か背反してゐるのである。

本來、事變の意義と本質とに徴するならば、對支輸出制限の如きはたとへいかなる犠牲を敢てしても、斷じて行つてはならないのである。東亞に覇業を完成し得る唯一

の鍵鑰が戦闘工作の後に随ふ建設工作の成果いかにあることを知る限り、建設工作の基礎をなす人心招撫のための物資供給の如きは、極端にいへば無償であつても差支えないとさへみられ、それはまさしく大局的見地よりする戦費の一部分たるべきものである。

さればいかに當面緊急なる國際收支と雖も、かくの如くみる限り、そのみが決して唯一の第一義的問題とはなり得ない。現下の目標はただ一途、事變をして有終の美を濟さしむるにあるのである。制限が一年つゞけば支那經濟の復興、建設工作の進展は二年或は數年をおくるのであらう。

かくしてわれわれは功利的に打算しても、なほ且つ制限緩和乃至撤廢の早きを望まざるを得ないのである。特に事變は長期建設の段階に入り、經濟工作に主力を注がねばならぬ時機に達した今日、その必要は一層痛感されざるを得ない。それに日本戰時經濟の安固を期して斷行した輸出制限は、先づ國內に於て逆効果を産み、徒らに要轉

業・要救濟の業者を輩出せしめつゝあると同時に、冀求せる支那民衆の生活復興とは全く背馳せる結果を顯現せしめてゐるのである。

もとより北支は純然たる圓ブロックであり、そこに供給せらるゝ邦品は何等直接外貨とは關はりを有たない。しかしそれにしても、その地の治安工作が進展すれば、第三國への輸出による外貨取得も増大するであらう。しかも貿易統制が前述の如く強化せらるゝに於ては、施すに方法を以てすれば、それは日本人の手によつて第三國人の手を通じてなされるよりも容易に行ひ得、したがつて取得せる一志二片ベインスの外貨は日本側の自由處分に委ね得る性質のものとなるであらう。かくなればわが國よりの北支輸出制限も緩和され得ることとなるであらう。

また中支幣制は一應外貨獲得に資し得る形態を整へた。しかしこゝに一つ留意すべきことは、華興券が利用されることゝなつても、何等圓ブロック輸出制限問題の解決とはならぬことである。對日決済は依然圓札で行はれる。圓札で受取る限り、對支輸



出は相變らず外貨と關係はない。法幣は暴落したが、しかしそれは自ら一の新安定點を見出すであらう。かくて法幣を通じて外貨を獲得する路は、今後と雖も決して絶無ではない。しかもそれは斷じて法幣擁護ともならなければ、中南支拋棄でもない。そのことは華興券が法幣とリンクしたやうな形をとつたことによつて、中南支を通貨制度上から除外したのでないと同様である。

詳論は省くが、とに角、對支輸出は本來、外貨獲得問題としてそれを制限するよりは、むしろ積極的に獎勵さへすべき問題であることを知ればよい。北支、中南支を通じて、事情こそ異なれ、邦品供給が人心收攬、産業開發、長期建設のための有力な支柱であり、それに伴つて支那品の第三國輸出が促進されるのである。尙當面の同時的國際收支適合のみを狙ふことなく、些少の時間的遲延を認むることによつて、事變の成果を全面的に收め得ることを斷じて忘れてはならない。しかも單に通貨問題のみからみても、かくすることが結局新貨幣工作の順調な成功を側面より有力に援助し、新

秩序建設を阻碍する法幣の崩壊を早めるのである。

## 一一、む す び

東亞新秩序の建設はわれ／＼日本人に課せられたる至上命令である。それはしかし、決して容易に實現し得るほどの簡単な問題ではなく、あらゆる角度からみて、相當の期間を必要とするとおもはねばならない。それには根本に於て民心を新秩序に收攬せねばならないのである。

殊に新秩序は經濟ブロックが中心をなし、經濟ブロックの一重要構成要因は、貨幣ブロックの有利なる形成にある。しかるに貨幣の工作は何よりも民衆の心からなる協力を要請するのである。

すでに法幣は漸次崩落の路を進みつゝありとはいへ、今なほ内外の支援の下に相當根強く、決して敗退し了つたのではない。これをして崩壊せしめ、所期の目的を達成

するには、尙技術的にも各種の困難があるのであらう。われ／＼は中北支に於ける新幣制の成功に對し、衷心祈念して已まぬものである。

（以下は非常に薄い文字で印刷された文章が続き、内容はほとんど読み取れない）

昭和十四年九月十五日印刷  
昭和十四年九月二十日發行

實業教育資料 1 價 二〇錢  
事變と支那の法幣

不許  
複製

編輯兼 發行入 財團法人實業教育振興中央會  
常務理事 倉 橋 藤 治 郎

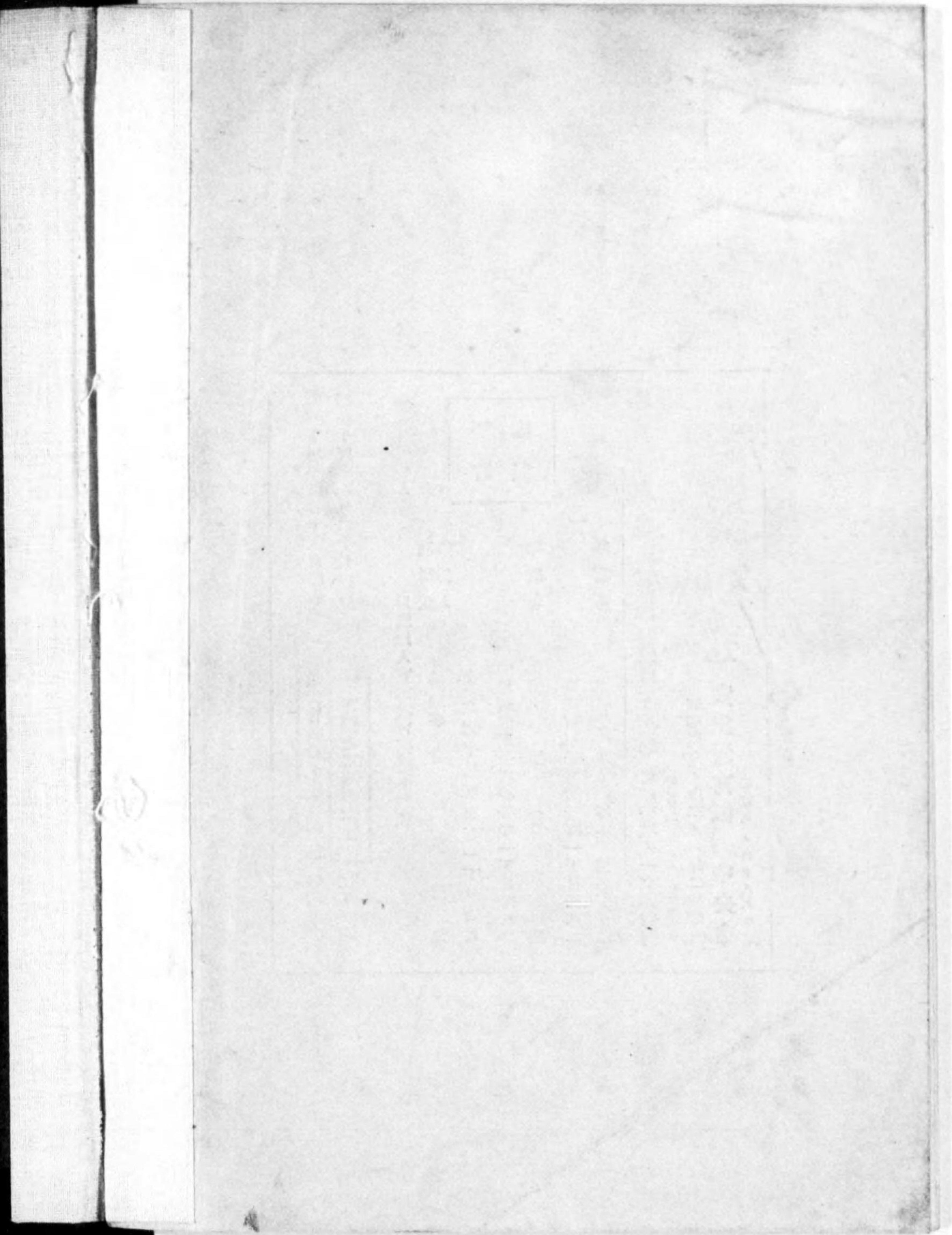
印刷者 東京市牛込區原町一丁目六八  
東京市王子區神谷町一丁目四八二  
松 井 方 利

印刷所 東京市王子區神谷町一丁目四八二  
東京印刷株式會社

本部 東京市麴町區霞ヶ關三丁目四番地ノ一文部省内  
振替口座番號東京一四三〇三九  
東京市麴町區丸ノ内三ノ六仲二號館内  
發行所 財團法人 實業教育振興中央會  
電話丸ノ内五八六〇番



259.  
146



終